

三河商人道

PART
181

フジビニール株式会社

代表取締役 藤井 浩久 君



青年部が 「今の自分を創ってくれた」



藤井さんが代表を務めるフジビニール株式会社は、テント・シート、農業用資材、ビニール、包装梱包資材、ポリエチレン製品を取り扱う会社です。藤井さんのご祖父様が創業され藤井さんが三代目です。元々は、江戸時代から続く呉服屋でしたが、時代の流れを先読みし、現在の業種に変更されたという事です。高校時代は勉学に励み、東京の大学に進学、一人暮らしを満喫されたそうです。大学卒業後は、東京で5年間勤務しましたが、ある日、お父様から「帰って家業を手伝え」と言われ岡崎に帰郷、その当時は景気も良く毎日配達に追われる忙しい日々を過ごされたそうです。

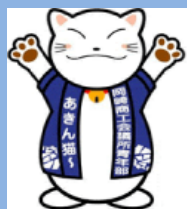
青年部入会のきっかけとなったのは、岡崎に戻り、まず地元の消防団入団のお誘いがあり、あまり乗り気ではない中、誘ってくれた方の人柄や人間性に惚れ、入団。その消防団の会合に参加した際、入会のきっかけとなる人物に、数十年ぶりに再会をはたされました。それが、『びさん仏壇店の坂田さん』。幼少期を共に過ごした幼馴染みとの、数十年ぶりの再会であったのに、2人が距離を縮めることに時間は掛からなかったそうです。その再会がきっかけとなり、入会を決められたという事です。

そして、人生の転機となったのが2001年9月11日 アメリカ同時多発テロの時、仕事が激減してしまいました。しかしそんな中だからこそ、時間にゆとりができ、インターネットや本を読む機会が増えた事で、新たなビジネスチャンスを見つけだす事ができたそうです。それまで、祖父や父の仕事を引き継ぎ不安なく過ごしてきたので、新たなビジネスを創業することの不安や家族からの反対もあり迷いがあったそうですが、青年部の仲間からの後押しにより「個別指導塾スクールIE」を開業されました。

藤井さんにとって青年部とは？「青年部とは、様々な業種の集まりで、色々な人と関わることが出来る自己成長の場。悩みがある時や、困っている時は何度も仲間から助けられました。今の自分がいるのも、自分が成長出来たのも青年部のおかげ。」とお答えをいただきました。そんな青年部に「恩返し」が出来ればと思い、岡崎商工会議所青年部第26代会長をお引き受けになられたそうです。その当時の思いをお聞きしたところ、「会長をやる事で、自分を成長させ、今の自分を創ってくれた青年部への感謝の気持ち・想いを、目に見える形で現役メンバーと先輩方に伝えたい。会長年度の1年間は、今振り返っても全てが鮮明な記憶として残っている。」とお答えいただきました。

そして、もう一つ大事な思い出が3度目の委員長を務めた平成18年度、当時の思いをお聞きしました。「自分をここまで成長させてくれたきっかけとなったのは、3度目の委員長を務めた平成18年度だった。後に、この委員長経験が今後の青年部活動のDNAそのものになった。その年度の卒業式を担当し、委員会メンバーをはじめ、卒業生や先輩方から多くの称賛の声を頂くことができた。意見をぶつけ合いながらも結束力を高め、委員会メンバーの協力を得ることができた。青年部の良いところは、会社と違い金銭等の利害関係がないこと。そんな関係性がある中で、どの様にしたらメンバーの協力を得る事ができるか、と考える事で、成長する機会をもらった。例会終了後の挨拶で、言葉が出ない位の男泣きをした。そのような経験、成長をさせてくれた青年部には、本当に感謝している。」と熱いメッセージをいただきました。

取材メンバー一同、青年部メンバー同士で協力し助け合い、新たな事業や青年部活動に積極的にチャレンジしたい、と強く感じる取材となりました。



取材担当/
 活性委員会
 長坂広之
 深谷武史
 仰木香り
 山口純一
 倉橋玉喜